

# 広島市佐伯区

広島市佐伯区は広島市の西端に位置する広島市の8つの区のうちの一つです。昭和60年に旧佐伯郡五日市町と広島市が合併し、五日市町をそのまま佐伯区としました。また、平成17年に旧湯来町との合併を経て、現在の佐伯区になりました。

区の南部は、清流八幡川沿いに広がった平野部が、極楽寺山などの山々で形成される山地部に取り囲まれており、北部は水内川が東西に貫流、上流では谷あいの平地に集落が点在し、下流はやや広がりを持った河川沿いの平地にまとまった集落が形成されています。

湯来地区は、広島市の奥座敷として親しまれてきた「湯来温泉」や広島藩主浅野氏の湯治場でもあった「湯の山温泉」など、恵まれた自然資源を有し、特産品の「湯来の子持ちこんにやく」は多くの方に愛される一品です。また、佐伯区には約1万種類の植物を展示する広島市植物公園や、全国に3箇所しかない造幣局の広島支局があります。年間を通してお楽しみいただける佐伯区へ是非お越しください。



広島市植物公園



造幣局広島支局



子持ちこんにやく



大竹市マップ

# 大竹市

大竹市は昭和29年に3町1村1地区が合併して誕生しました。県境を流れる小瀬川の豊富な水と、瀬戸内海に面した旧海軍の大竹海兵団、潜水学校などの広大な跡地を利用して企業誘致を進め、昭和37年に日本最初の石油化学コンビナートが建設されました。以来、美しい工場の夜景に象徴される工業都市として今日に至っています。

同時に、江戸時代から和紙の生産が盛んにおこなわれてきた地域であり、現在も、手すき和紙の里と和紙作りの体験ができます。また、阿多田島ではハマチ・タイの養殖が盛んで、レモンの飼料で育った「あたたハマチ」と「レモン」が開発されました。

沿岸部の工場地帯の工場群と弥栄峡、三倉岳、阿多田島などの景観が織りなす町、大竹市は皆様のお越しを待っています。



工場夜景



三倉岳



手すき和紙製品

広島市佐伯区・廿日市市・大竹市

# 西国街道がつなぐまちあるきマップ



## 行事予定

### 広島市佐伯区

- 4月 ● 花のまわりみち ● さえぎまつり
- 5月 ● 区民ウォーキング大会
- 6月 ● あんず祭り ● 湯来温泉ホテルまつり
- 7月 ● 土曜夜市(コイン通り商店街、楽々園センター商店街) ● 八幡川リバーマラソン
- 10月 ● 湯の山温泉湯治場まつり
- 11月 ● 佐伯区民まつり ● アートフェスタ佐伯区 ● 湯来フェス
- 随時 ● クルーズ客船の寄港

八幡川リバーマラソン

佐伯区民まつり(花の塔)

### 廿日市市

- 4月 ● はつかいち桜まつり ● 極楽寺山開き
- 5月 ● 洞雲寺花まつり ● はつかいち木工まつり
- 6月 ● 御陵衣祭
- 7月 ● はつかいち縦断みやま国際パワートライアスロン大会 ● 極楽寺四万八千日護摩祈願
- 8月 ● 二百廿日豊年市民祭
- 9月 ● さくらびあ神楽競演大会
- 10月 ● 廿日市天満宮秋祭り ● 極楽寺大茶盛り
- 11月 ● 生涯学習フェスティバル
- 毎月 ● 廿日の市

はつかいち木工まつり

廿日の市

### 大竹市

- 4月 ● 亀居城まつり ● 三倉岳山開きフェスティバル ● マロンの里春祭り
- 7月 ● 大竹・和木川まつり花火大会 ● あたた愛ランドで釣り大会
- 8月 ● 土曜夜市
- 10月 ● 小方祭、玖波祭、大竹祭 ● ふれあい健康福祉まつり
- 11月 ● コイ・こいフェスティバル ● マロンの里秋祭り
- 1月 ● 大竹駅伝競走大会 ● おおたけカキ水産まつり
- 3月 ● ひな流し

大竹祭(やっこ行列)

大竹駅伝競走大会

※行事の開催の有無、時期については変更になる可能性があります。

【企画・編集】  
**広島市佐伯区・大竹市・廿日市市**  
**西国街道連携プロジェクト**

【お問い合わせ】  
 広島市佐伯区役所地域起こし推進課 Tel.082-943-9705  
 〒731-5195 広島市佐伯区海老園2丁目5-28  
 大竹市教育委員会生涯学習課 Tel.0827-53-5800  
 〒739-0605 大竹市立戸1丁目6-1  
 廿日市市環境産業部観光課 Tel.0829-30-9141  
 〒738-8501 廿日市市下平良1丁目11-1  
 広島市文化財団五日市公民館 Tel.082-922-8333  
 〒731-5126 広島市佐伯区新宮苑11-14

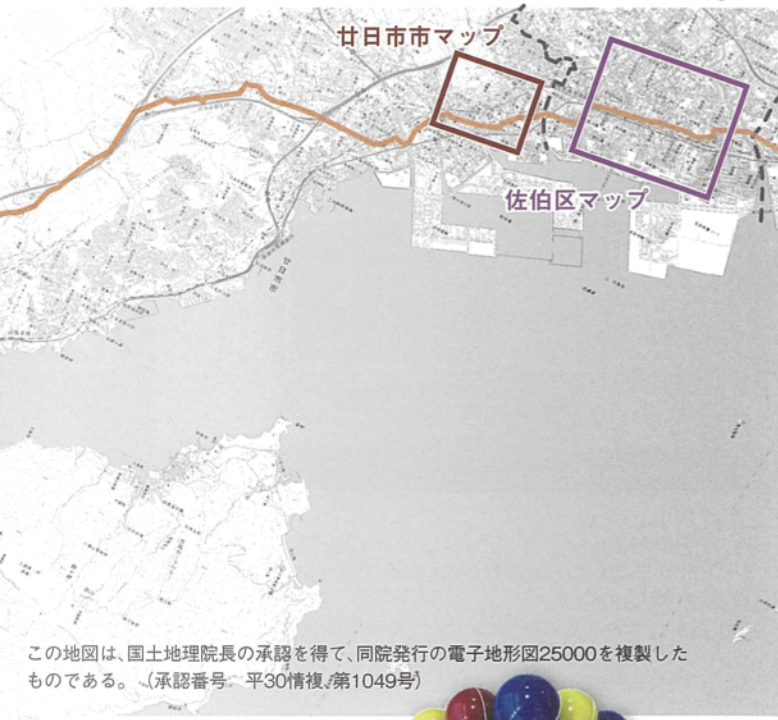
【発行年月】2019年3月 浅野氏広島城入城400年

## 西国街道とは

江戸時代、山陽道は「西国街道」と呼ばれ、五街道に次ぐ規模を誇りました。



古代から中世まで、京都と大宰府を結ぶ唯一の大路として文化の大回廊でしたが、江戸開府後は脇街道となり、西国を結ぶ重要な街道として宿駅や一里塚、街道松が整備されました。広島藩内の宿駅には、広島城下の東の愛宕町界隈や、西の堺町界隈をはじめ、西から玖波、廿日市、海田市、西条四日市、本郷、三原、尾道があり、参勤交代や多くの交易に利用されました。



廿日市市マップ

佐伯区マップ

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号:平30情復第1049号)

## 廿日市市

廿日市市は、北は中国山地、南は瀬戸内海に至る豊かな自然として、世界遺産の嚴島神社をはじめとする悠久の歴史文化など、様々な資源にあふれる広島県西部のまちです。

昭和63年に市制施行。その後、旧佐伯郡佐伯町、吉和村・大野町・宮島町との平成の大合併を経て、現在の廿日市市となりました。

市役所前の広場では、毎月20日に廿日市の名前の由来となった市(いち)が開かれ、多くの出店者と買い物客で賑わいます。また、古くから木工のまちとして栄え、「けん玉発祥の地」として知られています。

国際観光地「宮島」はもとより、山間部にも、果物狩りが楽しめる観光農園やアーチェリー・乗馬などの体験施設が充実した観光のまちです。

車で1時間圏内に、四季折々楽しめるスポットが点在し、海水浴から雪遊びまで一年中楽しみがいっぱい。一日じゃ足りない廿日市市を満喫してください！

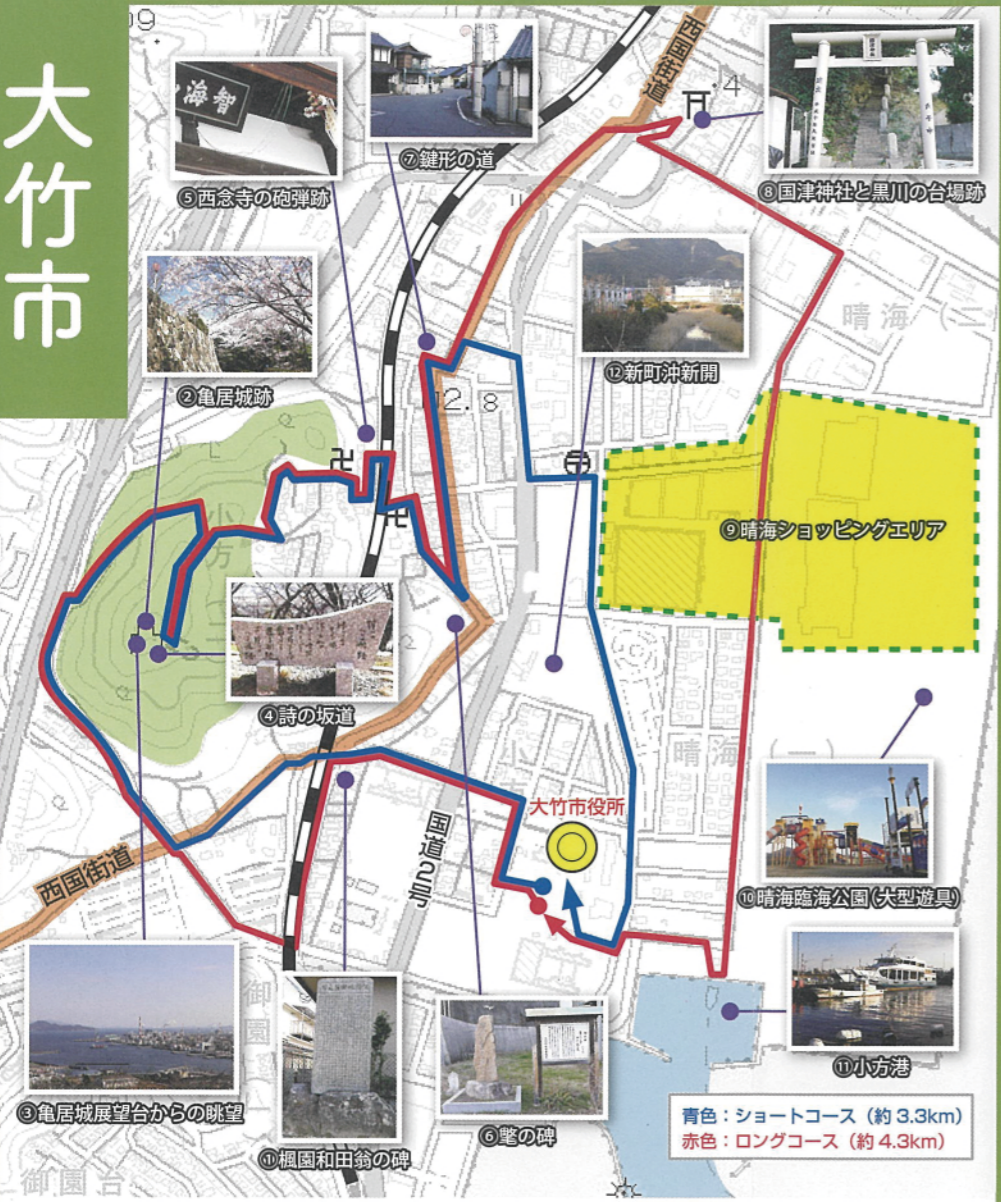


けん玉



はつかいち桜まつり

# 大竹市



**① 楓園和田翁(ふうえんわだおう)の碑**  
 俳句に傾倒し楓園と号した小方村の庄屋和田吉左衛門は、新町沖新開の築調や度重なる風水害、長州戦争の被災対応等に尽力しました。その功績を称え、顕彰碑が建立されています。

**② 亀居城跡**  
 関ヶ原の戦いの後、福島正則は芸備2か国を与えられ、6つの支城を築きました。小方の亀居城は慶長8年から5年かけて完成しましたが、幕府の圧力によって、わずか3年で破却されました。今も古い石垣が三の丸など各所に残っています。名前は、地形が亀の形に似ているところから付けられました。

**③ 亀居城展望台からの眺望**  
 本丸からは大竹市の街並みやコンビナートのほか、瀬戸内海の島々が一望できます。また、春は桜、秋は紅葉が大変きれいな名所で、4月には亀居城まつりが開催されます。

**④ 詩(うた)の坂道**  
 大竹市出身の作詞家、石本美由起氏が作詞した「憧れのハワイ航路」「矢切の渡し」「悲しい酒」など名曲の数々を、石碑で紹介しています。

**⑤ 西念寺の砲弾跡**  
 第二次長州戦争において、西念寺は、進出してきた長州軍の本陣になりました。このため幕府側からの艦砲射撃による反撃を受け、現在も、本堂の肘木には砲弾の傷跡が残っています。

**⑥ 鑿(けごろも)の碑**  
 天保14年(1843)に松尾芭蕉の150年忌を記念して建てられたものです。その後、元治年間(1864～1865)に、俳人市川蘭史、永田斗泉らが鑿社(のちの清遊倶楽部)という俳句の会を組織しました。

**⑦ 鏡形の道**  
 西国街道の山道を玖波方面から黒川村に下りてくると鏡形の道に突き当たります。この道は、小方の町屋への入口にあり、城下町の特徴をよく残しています。

**⑧ 国津神社と黒川の台場跡**  
 黒川大膳川の河口の小山に、妙見皇の神(北極星)の小祠があり、妙見の社と呼ばれていました。延宝4年(1676)に国常立の神を祭る国津神社となりました。神社の北隣に幕末、海岸防備の台場が設けられました。

**⑨ 晴海ショッピングエリア**  
 晴海の海沿いには、ショッピングモールやホームセンターなどの大型店舗が建ち並び、多くの買い物客でにぎわっています。

**⑩ 晴海臨海公園**  
 野球やサッカーができるグラウンドのほか、球技場、テニスコート、児童用大型遊具、トイレ、管理棟が設置され、春は梅まつり、冬は牡蠣まつりなど、様々なイベントが行われています。

**⑪ 小方港**  
 釣り場として人気の阿多田島を往復するフェリー乗り場があります。夜は対面の工場夜景が美しいスポットです。

**⑫ 新町沖新開**  
 耕地の不足する小方村に、埋立てによって江戸時代(嘉永5年)に新町沖新開が完成しました。周囲には、西国街道と新町川及び水利の調整のための潮遊池があります。

# 廿日市市



**① 福佐売神社(ふくさめじんじや)**  
 節婦(貞操な女性)の魂を連福佐売(えのもとむらふくさめ)を祀った神社です。「三代実録」には、貞観14年(872)にその節操を称し位階を与えられたという記録が残っています。

**② 遠見遮眼(とみしやくま)の町並**  
 町家が斜めに構え、道がカクカクと曲がっています。その理由は、敵に一気に攻め込まれないため、庶民は大名行列が見えなくなるまで土下座を強いられたので、早く行列が隠れるようにするためとも言われ、諸説あり、定かではありません。

**③ けん玉商店街**  
 廿日市が発祥のけん玉をモチーフにした飲食メニューや雑貨を販売する商店が立ち並びます。けん玉を描いたマンホール鉄蓋は隠れた人気スポットです。

**④ 廿日市天満宮**  
 江戸時代中期から後期にかけて廿日市は北前船が入り出して栄えました。灯籠の明かりは灯台として沖をゆく船の安全を守っていたと伝えられます。

**⑤ 廿日市本陣跡**  
 大名や役人が宿泊した本陣です。廿日市宿の本陣役は山田氏が代々務めました。

**⑥ 中国醸造**  
 清酒を始め幅広い分野の酒類製造を手掛けています。蒸留所SAKURAO DISTILLERYでは、こだわりの広島県産原料を用いた純国産クラフトジンや広島初のシングルモルトウイスキーをつくる蒸留器を見学できます。

**⑦ 津和野藩御船屋敷跡**  
 津和野藩井家は元和6年(1620)広島藩との合意のもと、桜尾城跡の西側一帯に居留地を設け御船屋敷としました。

**⑧ 街道松**  
 寛永10年(1633)広島藩は幕府巡検使のために西国街道の整備を行い、街道の両側に松の並木を植えました。

**⑨ 佐方一里塚跡**  
 西国街道は寛永年間(1624～1645)に道幅二間半と定められ、三六丁ごとに一里塚が道の両側に設けられました。

**⑩ JR廿日市駅**  
 「木のまち」廿日市市の玄関口です。平成27年に木をふんだんに使った橋上駅舎として生まれ変わりました。

**⑪ 洞雲寺前公園**  
 昭和14年(1939)に東京・下関間を9時間で結ぶ「弾丸列車」の計画が立てられましたが、太平洋戦争の戦局悪化のため昭和18年度末に中止となりました。

**⑫ 洞雲寺**  
 嚴島神社の神主であった藤原教親・親父子が、長享元年(1487)に開山した寺院で、神主家の菩薩寺です。境内には、藤原興藤、陶晴賢、毛利元清夫妻の墓碑があります。

**① 塩屋神社**  
 海老塩浜の鎮守として祀られ、嚴島神社の末社の一つです。現在は、五日市八幡神社の御旅所にあてられています。

**② 海老塩浜跡**  
 江戸時代初期に広島藩が海老山の西に開設しました。「入浜式塩田」で生産された良質な生塩は佐伯郡や山県郡へ売り渡されました。

**③ 光禅寺誓いの松**  
 延宝年間(1673～1681)に石井兄弟は、光禅寺の僧大忍の手助けもあり嚴島仁王門での仇討ちを成功させました。

**④ 正向寺**  
 当時の住人の桜井文吉が僧となり龍乗と改め、元和2年(1616)に寺を建てました。

**⑤ 光禅寺**  
 浄土真宗本願寺に属し、旧佐伯郡最大規模を誇る寺院です。境内には数多くの墓碑や古樹も多く、広島市指定の保存樹に登録されています。

**⑥ 五つ神社**  
 祭神の五柱があり、五つ神社えびすさんとして親しまれています。五日市の地名発祥の地です。

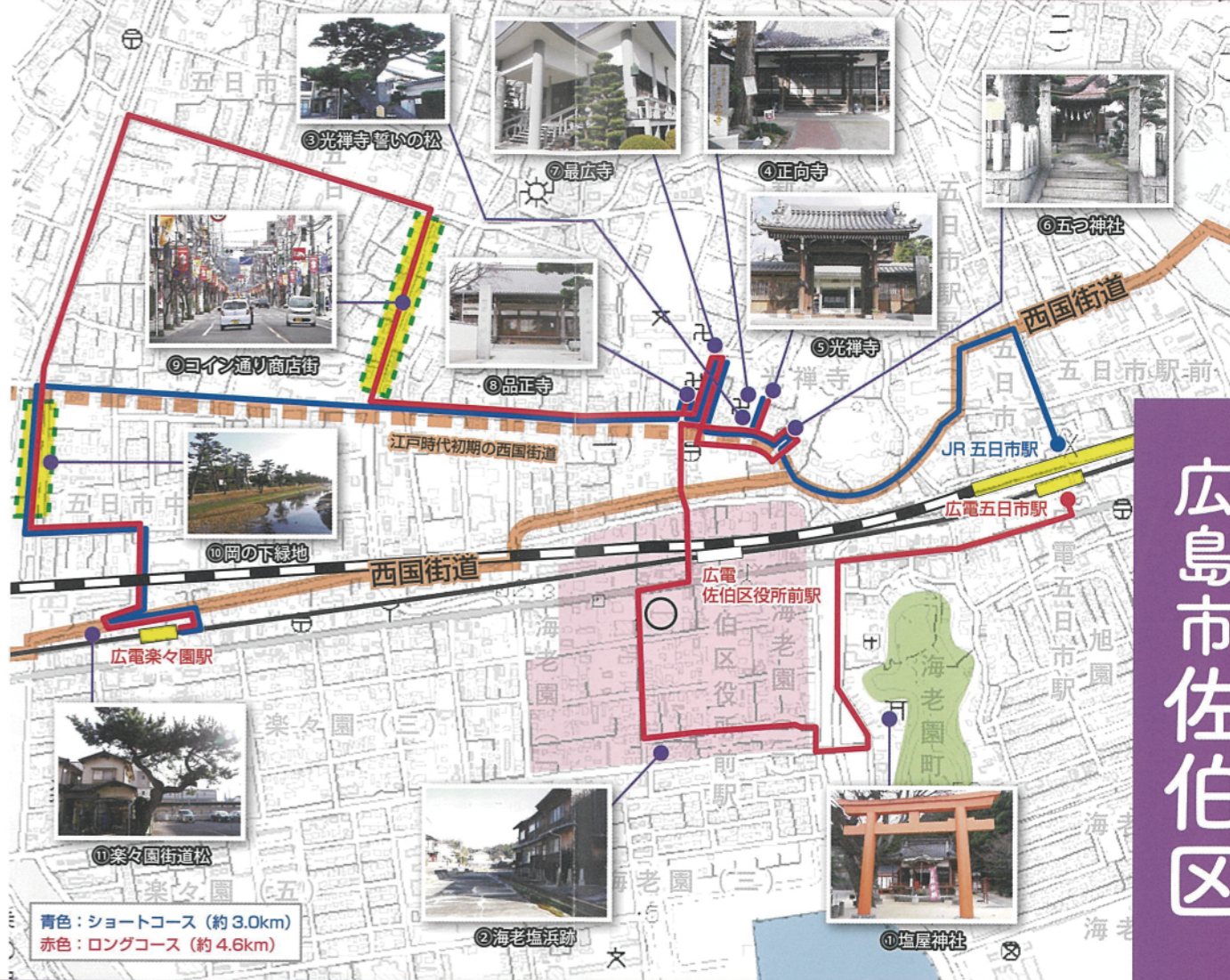
**⑦ 最広寺**  
 当時の開基は毛利輝元の家臣古川嘉兵衛吉光です。彼は浄土真宗に帰依し発心すると、平素の忠勤を認められ、祖先伝来の木造一休を下され、現在もこの仏像は本堂に安置されています。

**⑧ 品正寺(ほんしょうじ)**  
 元禄年間(1688～1704)に品川源之進という武士が出家し、一字を建立し当時の開基となりました。品川の一字をとり寺号としました。

**⑨ コイン通り商店街**  
 昭和30年代後半から栄え始めた歴史ある商店街です。「金持ち神に会える街」をキーワードに、金持稲荷大社などの開運スポットや、開運グッズの販売を行っています。

**⑩ 岡の下緑地**  
 五日市中央1丁目の五観橋からJR山陽本線の線路付近まであり、日露戦争戦勝記念の松があります。

**⑪ 楽々園街道松**  
 西国街道に残る並木松です。大正時代までは道の両側に数多く並んでいましたが、現在は2本のみとなりました。



# 広島市佐伯区